

## パナソニック製家庭用燃料電池「エネファーム」の販売開始について

2017年4月1日

当社は、2017年4月1日よりパナソニック製家庭用燃料電池「エネファーム」の戸建て向け2017年モデルの販売を開始いたします。

従来の東芝製エネファームに加え、パナソニック製のエネファームを採用することで商品ラインアップを充実いたしました。

本モデルは、価格の低減、停電時の運転性能の向上、発電耐久時間の向上などが改善されております。当社はエネファームの普及を通じてお客さまの快適な暮らしと地球環境の保全、電力ピークカットに貢献してまいります。

### パナソニックエネファーム 2017年モデル

|                  |  |
|------------------|--|
| 特徴①<br>価格低減を実現   | 新製品は、システムの簡素化などにより部品点数を現行品と比較して約20%削減したことや、発電に関する部品の見直しなどにより、販売価格の低減を実現することができました。   |
| 特徴②<br>停電時運転性能向上 | 停電時に電気を使いたいというニーズに従来以上に対応しやすくするため、連続発電性能を向上させることで、2016年モデルの約2倍の最長約8日間（192時間）、継続して発電できるように改良。<br>停電時の発電量は500Wを発電し、電気スタンド・テレビ・携帯電話の充電などに利用することが可能となり、また給湯や床暖房を使用することもできます。 |
| 特徴③<br>発電耐久時間の向上 | 発電回路と燃料処理器の耐久性を見直すことで、燃料電池ユニットの発電耐久時間を従来の7万時間から9万時間に延長。<br>これにより10年間点検不要を実現。また、連続発電時間についても最大22時間から、最大120時間に延ばすことができました。  |

### エネファームについて

「エネファーム」は都市ガスから取り出した水素を空気中の酸素と化学反応させて発電し、発電した電気は家庭内で利用します。その際に出る熱も給湯に利用します。電気をつくる場所と使う場所が同じであるため送電ロスがなく、また発電時に出る熱を無駄なく活用できる環境に大変やさしいシステムです。火力発電所からの電気と都市ガス給湯器からの給湯を行う方式と比べ、定格運転時にCO<sub>2</sub>排出量を約47%削減、一次エネルギー消費量を約37%削減できます。

また、年間の光熱費を約6万円節約、年間のCO<sub>2</sub>排出量を約1.3トン削減できます

以上